

2025年 人民元相場振り返り

~ 米中貿易摩擦は年前半に高まるも年後半にかけて一服。米国の利下げ再開もあり人民元高進行 ~



- ① 1月～: トランプ氏大統領就任初日に対中関税に関する言及が無かったことで安心感からドル安人民元高進行も、その後、関税賦課実施の流れとなる等、米中動向を巡り乱高下。
- ② 4月: 米国相互関税賦課発表を受けて米中貿易摩擦の緊張の高まりから、今年最高値となる7.3511まで上昇。
- ③ 5月: 関税一部引き下げを受けて人民元高が進行(ジュネーブ合意)
- ④ 8月: 米ジャクソンホール経済シンポジウムにてパウエルFRB議長が9月FOMCでの利下げ再開を示唆したことでのドル安が進行し、結果としてドル安人民元高が進行。
- ⑤ 10月: 国慶節明けに中国サイドはレアアース等の輸出規制を強化する方針/米国サイドはトランプ大統領が中国に対して100%の追加関税を課すことを其々発表するなど、米中貿易摩擦が激化。
- ⑥ 10月下旬: 米中首脳会談が開催され、喫緊の課題について暫定的な“ディール”が成立したことで、米中貿易摩擦は一時休戦へ。
- ⑦ 11月～: 米中首脳による電話会談が行われ米中間の融和ムードが醸成される中、ドル安人民元高が進行。節目となる7.10・7.05の大台を次々に下抜け、今年最安値となる7.0057まで下落。

2026年 人民元相場見通し

~ メインシナリオ：人民元高トレンドが継続すると予想。USDCNYは7.00を下抜ける展開も ~

2026	Jan - Mar	Apr - Jun	Jul - Sep	Oct - Dec	()内は各四半期の終値予想値
USD/CNY	6.97 ~ 7.14 (7.06)	6.93 ~ 7.14 (7.04)	6.84 ~ 7.12 (6.98)	6.74 ~ 7.08 (6.92)	

中国金融政策動向：2025年10月に開催された四中全会では次の5年間(2026～2030年)の計画となる第15次5カ年計画のコミュニケ(声明)が発表され、経済に占める「消費」の割合を大きく高め、内需主導型の経済を目指す基本方針が示された。また2025年12月に開催された中央経済工作会议では2026年の基本方針として、金融・財政政策の両輪で景気を下支えしていく旨が発表され、預金準備率・政策金利引き下げを含む柔軟な金融政策を展開することが示された。2026年の成長率目標は3月開催の全人代にて発表されると思われるが、足元で中国经济指標の減速が顕著に見られる中、追加的な景気刺激策や金融緩和に踏み切る可能性が高く、中国经济を押し上げる効果が期待される。

米国金融政策動向：FRBは2026年以降も利下げを継続することが見込まれる中、ドルの上値を重くする要因となるだろう。特に2026年5月にパウエルFRB議長が任期満了を迎える、次期議長にはより利下げに積極的な人物が任命される可能性が高いことなどを踏まえれば、今後利下げペースが早まる可能性もあり、ドル安人民元高要因となり得る。

その他：米中貿易摩擦に関しては一旦落ち着きを見せ、米中両国より順調に合意事項が履行されていることが示される中、足元では人民元高要因となっているものの、問題を先送りにした項目も多く、依然として火種が燻っている状況のため、引き続き動向を見守る必要がある。また実勢レートの元高トレンドと同時に、PBOC基準値に関しても2025年後半から年末にかけて断続的に水準が切り下げられて来たが、今後実勢レートが一方向への急激な値動きを伴った場合、人民元相場の安定化を図る観点から基準値が調整される可能性もあり、PBOC基準値設定に関する当局動向を引き続き注意深く観察する必要がある。



本年もご愛顧を賜り誠にありがとうございました。来年の干支は丙午(ひのえうま)。中国では良い意味を持つといわれており、「火」を象徴し「エネルギー」を表す「丙」と「火の気が強まる時期」の象徴である「午」が重なる「非常にポジティブな勢いがある良い年」とされているそうです。皆さまのお役に立てるよう力強く全力でサポート致します。来年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

